



ブラジル高配当株ファンド

設定日 2013年3月27日 決算日 原則 毎月20日

2017年5月22日現在

為替プレミアム・コース

基準価額の推移 (2013年3月27日～2017年5月22日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
 ・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	2017/5/22	2017/4/20
投資信託証券	96.6 %	97.4 %
純資産	468 百万円	493 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配落後です。
 ・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2017/5/22	前月比	2017/4/20
4,522 円	▲4.9 %	4,753 円

基準価額の騰落率

分配金の推移 (税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
 ・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	▲3.8 %	2017年5月	50 円
3ヵ月	▲10.1 %	2017年4月	55 円
6ヵ月	11.9 %	2017年3月	55 円
1年	25.2 %	2017年2月	55 円
3年	▲12.2 %	2017年1月	55 円
5年	— %	2016年12月	55 円
設定来	▲16.6 %	設定来合計	3,750 円

為替フリー・コース

基準価額の推移 (2013年3月27日～2017年5月22日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
 ・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	2017/5/22	2017/4/20
投資信託証券	96.1 %	97.7 %
純資産	63 百万円	66 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配落後です。
 ・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2017/5/22	前月比	2017/4/20
6,366 円	▲4.3 %	6,653 円

基準価額の騰落率

分配金の推移 (税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
 ・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	▲3.9 %	2017年5月	25 円
3ヵ月	▲10.8 %	2017年4月	30 円
6ヵ月	15.3 %	2017年3月	30 円
1年	29.7 %	2017年2月	30 円
3年	▲16.2 %	2017年1月	30 円
5年	— %	2016年12月	25 円
設定来	▲19.8 %	設定来合計	1,670 円

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。

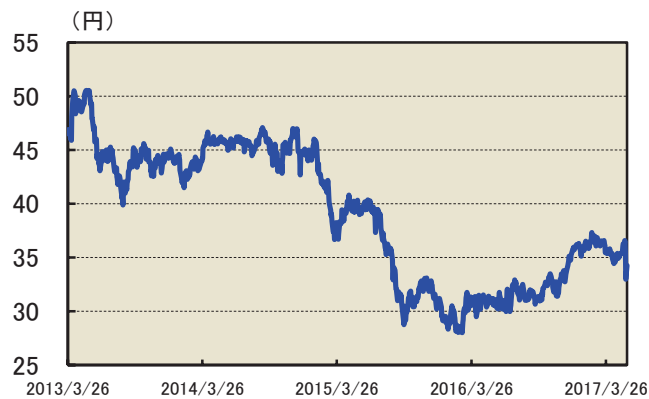
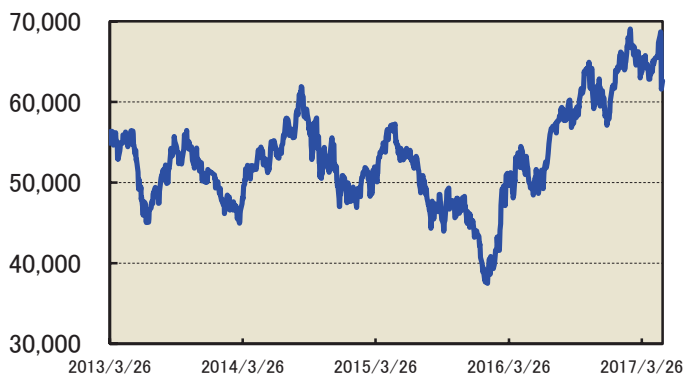


ブラジル高配当株ファンド

2017年5月22日現在

参考指数(ボベスパ指数)の推移(設定来)

為替(ブラジルレアル/円)の推移(設定来)



・ブルームバーグ等のデータを基にアセットマネジメントOneが作成。
 ・参考指数および為替は、参考のため掲載しているもので、当ファンドおよび当ファンドで組み入れる投資信託証券等の将来の運用成果や市況変動を示唆するものではありません。

ファンドマネージャーのコメント ・あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

ブラジル株式市場の概況と今後の見通し

《市場概況》

【ブラジル経済】

月次のGDP(国内総生産)を示す3月の経済活動指数は前年比+1.05%となりました。4月のIPCA(拡大消費者物価指数)は、前年比+4.08%と前月の同+4.57%から伸びが鈍化しました。また、3月の小売売上高は前年比▲4.0%、鉱工業生産は同+1.1%となりました。

【株式市場】

ブラジル株式市場は下落しました。ブラジルの下院本会議で労働法改革法案が可決されたことや、年金制度改革法案が同会議での採決に向けて前進したことを好感し、ブラジル株式市場は5月中旬にかけて堅調に推移しました。しかし、テメル大統領が汚職の隠蔽を指示する様子を録音したテープが最高裁判所に提出されたと報じられると、同大統領の進退問題や政府が進める構造改革が停滞するとの思惑などを嫌気し、株式市場は急落しました。

【為替市場】

ブラジル・レアル(以下、レアル)は対米ドル、対円とともに下落しました。政府による構造改革の進展期待から、5月中旬にかけてレアルは米ドルに対して堅調に推移したものの、テメル大統領の汚職隠蔽に関する報道後レアルは急落しました。ブラジル中央銀行(BCB)はレアルの急落に対応するため、通貨スワップを通じた米ドル売り・レアル買い介入を行いました。その効果は限定的でした。また、対円ではトランプ政権による税制改革案の発表や順当な結果となったフランス大統領選挙を受けてレアルは5月中旬にかけて上昇したものの、その後米ドル同様に急落しました。

《市場見通し》

足もとの政治情勢の混乱を受けて、財政健全化に向けた構造改革の取り組みが後退する恐れがあるほか、BCBによる利下げペースが緩やかなものとなる可能性があるため、回復の兆しが見え始めた景気への悪影響が懸念されます。こうした環境下で、ブラジルの金融市場は当面不安定な相場展開が続くことが予想されます。

《運用経過および今後の運用方針》

ブラジル高配当株ファンド(為替プレミアム・コース)／(為替フリー・コース)では、ブラジリアン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム・ファンドーPクラス／Jクラス(以下、プレミアム・ファンド)の高位組入を維持しました。プレミアム・ファンドでは、ブラジル銀行の100%子会社であるBB DTVMの助言に基づきブラジル株式に実質的に投資を行い、高い配当利回りを享受することを目指し運用を行いました。当期はポートフォリオに大きな変更はありませんでした。

今後の運用に当たっては、ブラジル株式市場の先行き見通しに加え、個別企業の配当利回り水準やEPS(一株当たり利益)成長率などから投資妙味が高いと判断される銘柄に投資を行う方針です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。

ブラジル高配当株ファンド

このページのデータは、クレディ・スイス証券が作成した資料をもとに記載しております。

2017年5月22日現在

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II – ブラジリアン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム・ファンドの内容
(2017年5月19日現在)

Pクラス (為替プレミアム・コースの投資対象)

要因分析	
内訳	期間 2017年4月19日～2017年5月19日
キャピタル	▲ 2.48 %
インカム	1.02 %
為替	▲ 2.47 %
プレミアム収益	0.30 %
その他要因	▲ 0.16 %
合計	▲ 3.79 %

通貨オプション	
カバー率	50.0 %
プレミアム収益(年率)	6.8 %

Jクラス (為替フリー・コースの投資対象)

要因分析	
内訳	期間 2017年4月19日～2017年5月19日
キャピタル	▲ 2.48 %
インカム	1.02 %
為替	▲ 2.47 %
その他要因	▲ 0.16 %
合計	▲ 4.09 %

- ・要因分析は概算であり、あくまで傾向を知るための目安としてお考えください。将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。
- ・キャピタルとは、株式等の値上がり益、値下がり損等で、インカムとは、株式等の配当収益等です。
- ・通貨オプションのカバー率は、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II – ブラジリアン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム・ファンドのブラジルリアル建資産に対するオプション戦略の想定元本の比率です。
- ・通貨オプションのプレミアム収益(年率)は、オプションプレミアム(約定日ベース)のブラジルリアル建資産に対する比率を年率に換算して表示しています。
- ・クレディ・スイス証券のデータ等を基にアセットマネジメントOneが作成しています。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。



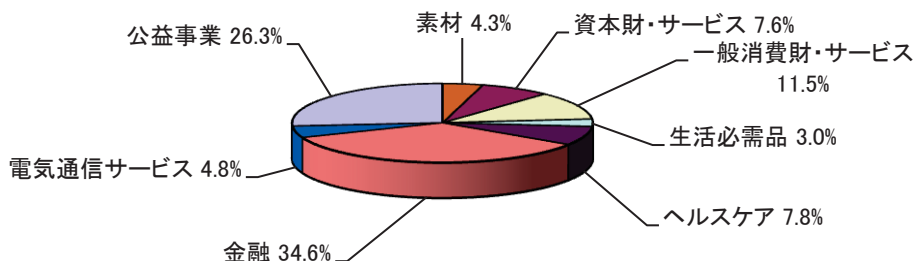
ブラジル高配当株ファンド

このページのデータは、クレディ・スイス証券が作成した資料をもとに記載しております。

2017年5月22日現在

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II - ブラジリアン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム・ファンドの内容 (2017年5月19日現在)

株式等業種比率



株式等組入上位10銘柄

※特定の銘柄の推奨を目的としたものではありません。また、将来の値動き等を示唆するものではありません。

銘柄名	種別	業種	実績配当利回り(税引前)	比率	銘柄解説
1 ITAUSA- INVESTIMENTOS ITAU-PR	優先株	金融	6.3%	8.3%	サンパウロに本社を置くコングロマリット。子会社に建材メーカーのDuratexや化学製品メーカーのElekeiroz、コンピュータ機器などを手掛けるItaotecなどの事業会社のほか金融グループのItau Unibancoを保有する。世界20か国以上で子会社を通じて事業を展開。
2 TRANSMISSORA ALIANCA DE-UNIT	ユニット	公益事業	9.7%	7.7%	リオデジャネイロに本社を置く電力会社でミナスジェライス電力の関連会社。ブラジル国内において電力ケーブルの建設、管理を実施している。現在管理しているケーブルは、6000キロメートル以上に渡っている。
3 BM&FBOVESPA SA	普通株	金融	2.6%	7.1%	BOVESPA(サンパウロ証券取引所)とBM&F(ブラジル商品先物取引所)が合併して誕生。株式や商品デリバティブといった金融商品の決済、受け渡しに加え、証券振替決済機関としての機能も有する。
4 BB SEGURIDADE PARTICIPACOES	普通株	金融	5.9%	6.2%	ブラジル最古の歴史を誇る銀行であるブラジル銀行の子会社で年金、保険業務を中心に行っている。保険提案や販売のほか、「titulos de capitalização」と呼ばれる貯蓄債券(譲渡・売却などが制限されているものの、優遇税制のある貯蓄を目的とした債券)の販売まで行っている総合保険業者。
5 CCR SA	普通株	資本財・サービス	3.8%	6.1%	高速道路管理会社でサンパウロ州、リオデジャネイロ州で高速道路を運営。ETCシステムの権益や、車検業者の一部株式を保有しているほか、サンパウロの地下鉄運営に関わる企業団に所属。
6 BANCO DO BRASIL S.A.	普通株	金融	2.9%	4.8%	200年以上の歴史を誇るブラジル最古の銀行。個人向けならびに商業銀行業務を行っている一般、商業、農業ローン、資産運用、外国為替、個人年金、保険、リースファイナンス、クレジットカードそしてネットバンキングが主な業務。
7 TELEFONICA BRASIL S.A.-PREF	優先株	電気通信サービス	5.1%	4.8%	固定、携帯電話、データ放送、ケーブルテレビなどを提供している通信会社で、スペインのテレフォニカグループの関連会社。テレフォニカグループはヨーロッパや中南米を中心に世界で事業展開している大手通信会社グループ。
8 QUALICORP SA	普通株	ヘルスケア	5.2%	4.7%	ブラジルの保険会社。企業向けに従業員の健康保険と福利厚生に関するアドバイスを提供し、職能団体と組合など向けに医療保険に関するアドバイスを提供する。
9 AES TIETE ENERGIA SA-UNIT	ユニット	公益事業	8.9%	3.7%	サンパウロに本社を置く電力会社。ティエテ、グランデ、パルド川沿いに所有する水力発電所で発電を行い、サンパウロ州の一般消費者向けの電力を供給。
10 SMILES SA	普通株	一般消費財・サービス	6.9%	3.5%	ブラジルのマイルージサービス会社。貯めたマイルはブラジルの航空会社であるゴル航空や提携先の航空会社の航空券などに交換できる。
ポートフォリオの加重平均実績配当利回り(税引前)			5.2%		
外国株式等組入銘柄数				27銘柄	

- ・業種は、世界産業分類基準(GICS)です。
- ・比率は、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) II - ブラジリアン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム・ファンドの株式等時価総額に対する割合です。
- ・実績配当利回り(税引前)は、過去12か月実績配当利回り(税引前)です。
- ・ポートフォリオの加重平均実績配当利回り(税引前)は、過去12か月実績配当利回り(税引前)を株式等の個別銘柄の構成比率に則して加重平均したものです。また、信託報酬等の費用を控除したものではありません。
- ・上記の数値は、ファンドおよび各組入株式等の利回り、運用成果等について何ら約束をするものではありません。
- ・クレディ・スイス証券のデータ等を基にアセットマネジメントOneが作成しています。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。



ブラジル高配当株ファンド

当資料のお取り扱いに関する注意事項

- ※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的としてアセットマネジメントOneが作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。
- ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。
- ※投資信託は、リスクを含む商品(外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。)であり、元本の保証はありません。
- ※購入のお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただき、投資に関してはご自身でご判断ください。また、あらかじめ交付される契約締結前交付書面など(目論見書補完書面を含む)の内容をよくお読みください。

投資信託のお申し込みの際の留意事項

- 投資信託は、預金や保険契約ではなく、預金保険制度、保険契約者保護制度の対象ではありません。
 - 投資信託は登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 投資信託は、元本の保証はありません。
 - 投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
 - 当資料はアセットマネジメントOneが作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- 信頼できると考えられるデータなどに基づき作成していますが、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。予告なく当資料の内容を変更する場合があります。



ブラジル高配当株ファンド

ブラジル高配当株ファンド各コースは、外国投資信託を通じて、主としてブラジルリアル建でのブラジルの株式に投資します。実質的に組み入れた株式の値動き、為替相場の変動などの影響により基準価額が変動しますので、これにより投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、各コースは元本が保証されているものではありません。

ファンドの特色

1. 高配当利回りのブラジルの株式を実質的な主要投資対象とします。

◆ファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。

・各コースはケイマン諸島籍の以下の外国投資信託と国内投資信託「国内短期公社債マザーファンド」を投資対象とします。

為替プレミアム・コース・・・ブラジリアン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム・ファンドPクラス

為替フリー・コース・・・ブラジリアン・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム・ファンドJクラス

・外国投資信託の組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。

・各コースが投資対象とする外国投資信託は、クレディ・スイス・インターナショナルを取引相手とする担保付スワップ取引により、ブラジル高配当株戦略および通貨オプション戦略の運用成果を反映する以下の指数に実質的に投資します。

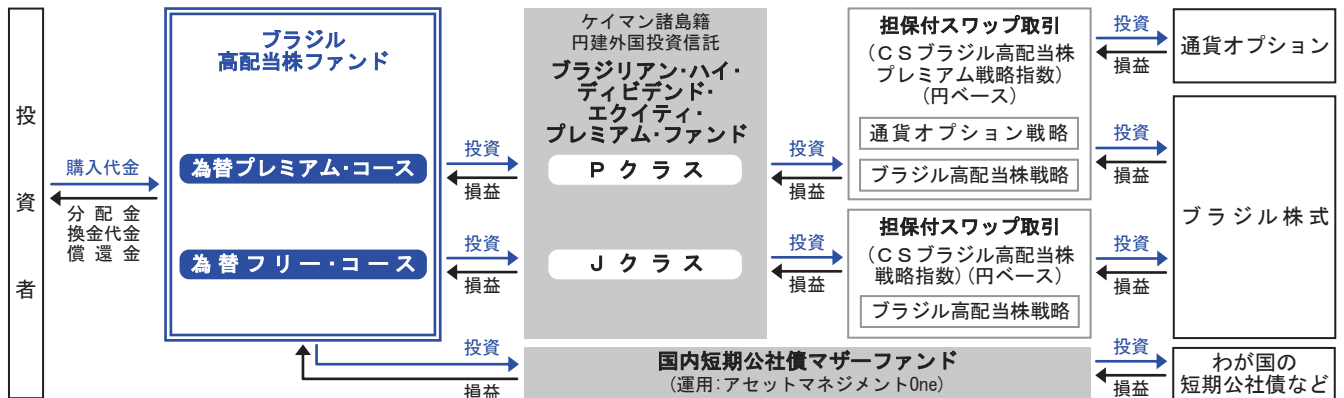
為替プレミアム・コース・・・CSブラジル高配当株プレミアム戦略指数(円ベース)

為替フリー・コース・・・CSブラジル高配当株戦略指数(円ベース)

※指数の算出・公表はクレディ・スイス・インターナショナルが行います。

※スワップ取引とは、取引の相手方に証拠金を差し入れ、ブラジル高配当株戦略および通貨オプション戦略の投資成果を享受する契約です。

・原則として、対円で為替ヘッジを行いません。



◆外国投資信託を通じて、主として相対的に高い配当利回りのブラジル株式を中心に投資を行い、高いインカム収益を確保しながら、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

◆ブラジル株式への実質的な投資は、ブラジル銀行グループの運用会社(BB DTVM)の助言に基づき行われます。

2. 為替プレミアム・コースでは、通貨オプション戦略を活用して、プレミアム収益の確保を目指します。

◆為替プレミアム・コースでは、外国投資信託を通じて、『ブラジルリアル買い・円売り』の通貨オプションを売却する通貨オプション戦略を活用し、プレミアム収益の確保を目指します。

◆原則として、通貨オプションの比率は保有する外貨建資産の評価額の50%程度を基本とします。

3. 原則として、毎月20日(休業日の場合は翌営業日。)の決算時に、収益の分配を行います。

◆各コースの分配金額は、以下の水準を基礎として、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

為替プレミアム・コース・・・投資信託証券を通じて実質的に投資する株式の配当水準および通貨オプション戦略から得られる収益など

為替フリー・コース・・・投資信託証券を通じて実質的に投資する株式の配当水準など

◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。



ブラジル高配当株ファンド

ファンドの主な投資リスク

各コースは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券などに実質的に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に実質的に投資した場合、為替相場の変動などの影響も受けます。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

株価変動リスク	株式の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、金利動向、発行企業の業績・経営状況の変化、市場の需給関係などの影響を受け変動します。一般に、株価が下落した場合にはその影響を受け、各コースの基準価額が下落する可能性があります。
為替変動リスク	外貨建資産は、為替相場の変動により円換算価格が変動します。一般に、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも、投資先の通貨に対して円高となった場合には、当該外貨建資産の円換算価格が下落し、各コースの基準価額が下落する可能性があります。また、各コースは新興国通貨建証券に実質的に投資を行うことから、為替変動リスクが相対的に高くなる可能性があります。
カントリーリスク	投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制などの要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。これらの影響を受け、各コースの基準価額が下落する可能性があります。各コースは実質的にブラジルの株式などに投資しますが、一般に新興国市場は、先進国市場に比べて規模が小さく、流動性も低く、金融インフラが未発達であり、様々な地政学的問題を抱えていることから、カントリーリスクはより高くなる可能性があります。
カウンターパーティ・リスク	各コースの投資対象である外国投資信託は、スワップ取引の相手方(カウンターパーティ)となるクレディ・スイス・インターナショナル(以下「クレディ・スイス」といいます。)に原則としてすべての保有資産を証拠金として差し入れることで、参照指数の投資損益をクレディ・スイスから提供されます。外国投資信託は、クレディ・スイスが取引する参照指数にかかる株式やデリバティブ取引について、何ら直接の権利を有しません。クレディ・スイスは、証拠金とほぼ同額の有価証券などを外国投資信託と同じ保管会社に預け入れ、自らが倒産などに陥った場合に当該有価証券などの管理権が外国投資信託に移る内容の契約を事前に締結しています。クレディ・スイスが倒産した場合、運用の継続が困難となり将来の投資成果を享受することができなくなるほか、担保が不足する場合や担保を処分する際に想定した価格で処分できない場合などがあることから、損失を被り、各コースの基準価額が下落する可能性があります。
流動性リスク	有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、各コースの基準価額が下落する可能性があります。
通貨オプション戦略に伴うリスク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 為替プレミアム・コースにおいて、実質的に採用される通貨オプション戦略は、カバー率50%の通貨オプションを売却することにより、一定期間に権利行使価格以上にブラジルリアル高/円安となった場合に権利行使価格を超える為替差益を享受できない代わりに、プレミアムの獲得を目指す戦略です。そのため、権利行使価格を上回ってブラジルリアル高/円安になったとしても、権利行使価格を超える為替差益の一部を享受することはできず、為替差益は限定されます。 ・ 通貨オプション戦略では、ブラジルリアル買い・円売りのオプションが満期を迎えるごとに、新たな権利行使価格のオプションが再構築されます。そのため、為替相場が大きく変動し、為替プレミアム・コースの基準価額が下落した後に新たな権利行使価格のオプションが構築された場合には、その後、為替が変動前の相場に戻った場合でも、為替プレミアム・コースの基準価額は変動前の水準を下回る可能性があります。 ・ 為替プレミアム・コースの換金に伴い、通貨オプション戦略を一部解消する場合、市場動向などによっては、不利な価格での解消を余儀なくされる場合があり、その影響を受けて為替プレミアム・コースの基準価額は下落する可能性があります。 ・ 通貨オプション戦略では、売却したブラジルリアル買い・円売りのオプションの評価額が市場動向などに応じて変動するため、オプションの満期までの間にブラジルリアル高/円安が進んだ場合や変動率が上昇した場合には、オプションの価値が上昇し、為替プレミアム・コースの基準価額が下落する可能性があります。

次ページに続きます。



ブラジル高配当株ファンド

ファンドの主な投資リスク

前ページからの続きです。

信用リスク	有価証券などの発行体が業績悪化・経営不振あるいは倒産に陥った場合、当該有価証券の価値が大きく減少すること、もしくは無くなる可能性があります。また、有価証券の信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該有価証券の価格は下落します。これらの影響を受け、各コースの基準価額が下落する可能性があります。
金利変動リスク	公社債の価格は、金利水準の変化にともない変動します。一般に、金利が上昇した場合には公社債の価格は下落し、各コースの基準価額が下落する可能性があります。
特定の投資信託証券に投資するリスク	各コースが組み入れる投資信託証券における各種関係法人の状況や業務上の判断が、各コースの運用成果や運営状況に影響を及ぼす可能性があります。また、外国投資信託を通じて各国の有価証券に投資する場合、国内籍の投資信託から直接投資を行う場合に比べて、税制が相対的に不利となる可能性があります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

ブラジルへの投資にあたってのご留意事項

ブラジルでは、国外から金融資産などへの投資や換金に伴い発生する為替取引に対し、税金が課せられることがあります。投資者による各コースの購入や換金に伴い実質的に発生した為替取引にかかるこれらの税金は、各コースの投資信託財産全体で負担することになり、基準価額の下落要因となります。



ブラジル高配当株ファンド

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／海外／株式
購入単位	(当初元本1口=1円) 購入単位は販売会社またはお申込コースにより異なります。 お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」の2コースがあります。ただし、販売会社によってはどちらか一方のみの取り扱いとなります場合があります。詳しくは販売会社またはアセットマネジメントOneにお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(各コースの基準価額は1万円当たりで表示)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までとし、当該締切時間を過ぎた場合の申込受付日は翌営業日となります。 ※申込締切時間は販売会社によって異なる場合があります。
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金 申込不可日	以下に定める日には、購入・換金のお申し込みの受付を行いません。 ・サンパウロ証券取引所の休業日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申し込みを取り消す場合があります。
信託期間	2018年3月20日まで(2013年3月27日設定)
繰上償還	各コースの受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などには、繰上償還することがあります。また、各コースが主要投資対象とする外国投資信託が償還した場合または商品の同一性が失われた場合は、各コースを繰上償還します。
決算日	毎月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回の決算時に、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ※「分配金再投資コース」を選択された場合の分配金(税引後)は自動的に無手数料で全額再投資されます。
課税関係	収益分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して所定の税率により課税されます。各コースは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称:ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」の適用対象です。 ※税法が改正された場合などには、課税上の取り扱いが変更になる場合があります。

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時	購入時手数料 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、 3.78%(税抜3.5%) を上限として、販売会社がそれぞれ独自に定める手数料率を乗じて得た額となります。詳しくは販売会社またはアセットマネジメントOneにお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対し 0.35% を乗じて得た額を換金時にご負担いただきます。
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
保有期間中	運用管理費用(信託報酬) 投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた実質的な信託報酬の総額は、日々のファンドの純資産総額に対して 年率1.9164%(税抜1.83%)程度 となります。 (上記は、ケイマン諸島籍外国投資信託を100%組み入れた場合の信託報酬の総額を示しています。) ・各コース:年率1.1664%(税抜1.08%) ・ケイマン諸島籍外国投資信託:年率0.75% ・国内短期公社債マザーファンド:ありません。 外国投資信託の信託報酬には、管理会社、報酬・費用などの支払い事務代行を行う報酬代行会社ならびに保管受託銀行への報酬、監査報酬、弁護士費用および当初設定にかかる諸費用などが含まれます。また、受託会社兼管理事務代行会社に対して最大年20,000米ドル、副管理事務代行会社に対して最大年95,000米ドルが投資対象ファンドから支払われます。
	その他の費用・手数料 監査法人に支払うファンドの監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などを、その都度(監査報酬は日々)、投資信託財産が負担します。また、各コースが主要投資対象とする外国投資信託において、解約に伴う取引により発生する解約手数料として解約時の純資産価格の0.35%がかかるほか、有価証券売買時の売買委託手数料に相当する額が実質的にかかります。 ※「その他の費用・手数料」については、定率でないもの、定時に見直されるもの、売買条件などに応じて異なるものなどがあるため、当該費用および合計額などを表示することができません。

◎手数料などの合計額については、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

◎詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)、運用報告書などでご確認ください。

◎資産規模が比較的少額である場合は、運用管理費用(信託報酬)ならびにその他の費用・手数料のうち定率でない一部項目の負担が純資産総額比で高率となる場合があります。

委託会社、その他の関係法人

■委託会社: アセットマネジメントOne株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
ファンドの運用の指図などを行います。

■受託会社: 三井住友信託銀行株式会社 ファンドの財産の保管および管理などを行います。

■販売会社: 募集・販売の取り扱い、投資信託説明書(目論見書)などの書面の交付、換金申込の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・換金代金・償還金の支払いなどを行います。

アセットマネジメントOne株式会社 コールセンター 0120-104-694 (受付時間は営業日の午前9時~午後5時です。)
インターネット ホームページ <http://www.am-one.co.jp/>



ブラジル高配当株ファンド

販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第40号	日本証券業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

この一覧表は、各販売会社より取得した情報を基に作成しています。

(順不同)



ブラジル高配当株ファンド

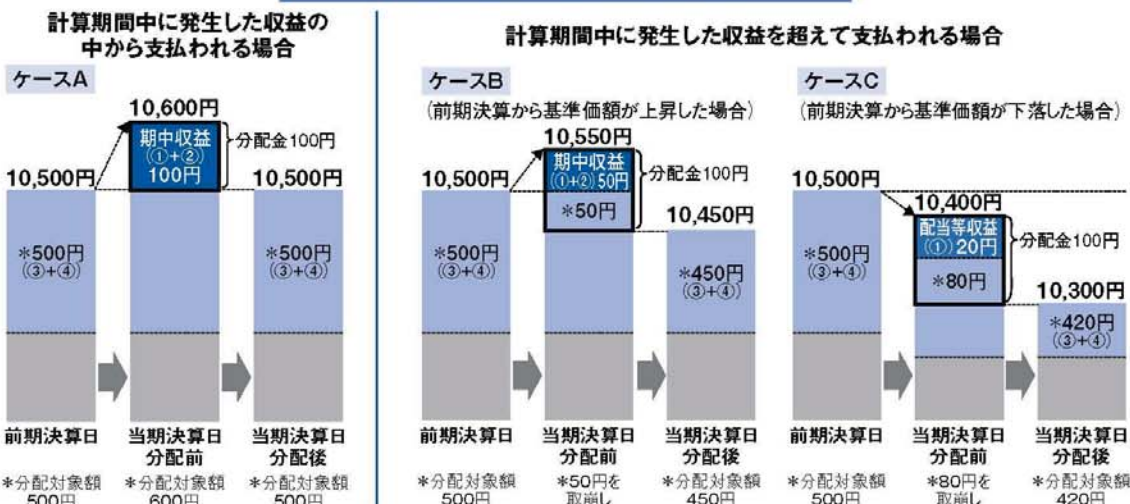
収益分配金に関する留意事項

●投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。



●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配金と基準価額の関係(イメージ)



分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

①配当等収益(経費控除後)、②有価証券売買益・評価益(経費控除後)、③分配準備積立金、④収益調整金

上図のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次のとおりとなります。

ケースA: 分配金受取額100円+当期決算日と前期決算日との基準価額の差 0円 = 100円
 ケースB: 分配金受取額100円+当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲ 50円 = 50円
 ケースC: 分配金受取額100円+当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲ 200円 = ▲100円

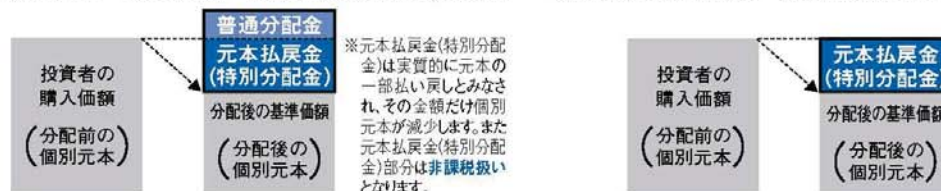
★A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払い戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払い戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。